急な病気やケガ…

救急車を呼ぶべき？

病院に行ったほうがいい？

救急医療相談・医療機関案内ダイヤル

24時間
365日対応

救急安心センターひょうご

シャープ　ナナ　イチ　イチ　キュー

＃7119

救急車を呼ぶべきか迷った時や、どの医療機関をいつ受診すればよいか
わからない時に、24時間いつでも相談を受け付ける短縮ダイヤルです。

©兵庫県2007

直通ダイヤル　078-331-7119

※IP電話及び市外局番が06または072の固定電話等からは、直通ダイヤルにおかけください。

救急医療相談
緊急性や受診の必要性についてアドバイス

医療機関案内
受診可能な医療機関の案内

2025年7月11日（午前9時）から 兵庫県全域で ＃7119 が利用できます

救急安心センターひょうご運営委員会（構成：兵庫県と県内全ての市町）

たとえばこんなとき

■ 熱が下がらない　■ 急にお腹が痛くなった　■ 夜中にけがをしてしまった

相談の流れ

＃7119 に電話する

※回線が混雑しているときはガイダンスに従いそのまましばらくお待ちください。

救急医療相談

相談員が対応

（看護師 または 救急救命士）

■ 病気やけがの状態を把握

■ 緊急性について判断

緊急性が高くない場合

医療機関案内

受診できる医療機関を案内

■ 受診するタイミングをアドバイス

緊急性が高い場合

119番を案内

■ 特に緊急度が高い場合はそのまま119番へ電話転送

※自治体によってはご自身で119番へかけていただく必要があります。

・服薬や現在通院している病院での治療方針、介護・健康・育児に関する相談は対象外です。
・救急医療相談を希望される場合、相談対象者がお近くにいない状況での電話には対応できません。
・聴覚や発話に困難のある方は電話リレーサービスをお使いいただけます。
・相談料は無料ですが、通話料は相談者負担です。

救うことができる命を守るために

©兵庫県2007

＃7119をご活用いただき、地域の限られた医療資源である救急車の適正利用にご協力ください。

救急車の出動件数は年々増加し、現場到着までの時間が大幅に延びています。
しかし、救急車が搬送した人のおよそ半数は「軽症」です。
このまま救急出動が増え続けると、重症の方への対応が手遅れになり、助かるはずの命が助からなくなります。救急車の適正な利用にご協力いただき、救急車を呼ぶべきか判断に迷ったときは＃７１１９をご活用ください。

救急医療相談は、看護師等による医療機関受診のためのアドバイス提供を目的としたサービスです。

緊急を要すると思ったら119番に電話してください。